

大会決議（案）

九州中央自動車道の整備につきましては、日頃から格別の御配慮を賜り厚くお礼申し上げます。
九州中央自動車道は熊本県・宮崎県にまたがり九州を東西に連絡するとともに、地域の活性化をはじめ、九州全体の産業・観光振興や国際競争力の向上など、九州の東西格差の解消とその一体的浮揚に寄与する大変重要な路線であります。

令和6年2月に「山都中島西～山都通潤橋」間が開通し、今年度は「平底～蔵田」間が「計画段階評価を進めるための調査」の対象区間に選定されるなど着実に整備が進められております。

しかしながら、本路線の供用率は約43%であり、また、計画延長の約95kmに対し約23kmは未事業化区間となっております。近年、九州各地で大規模災害が相次ぎ、熊本県南部を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨においては、通行不能となった国道219号や国道3号の代替路として、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道が大きな役割を果たし、改めてダブルネットワークの確保の必要性を認識したところです。

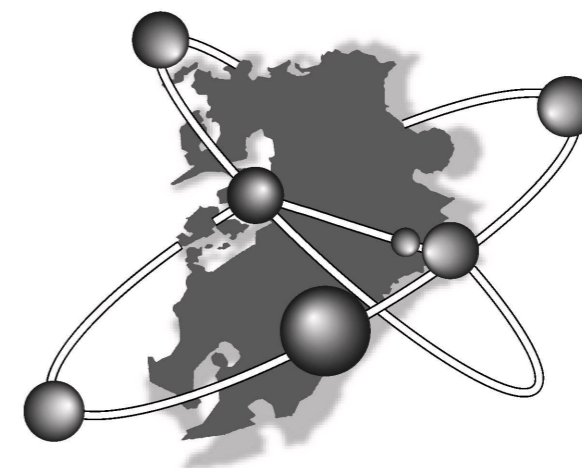
今後、南海トラフ地震の発生も懸念される中、九州の東西軸を担う本路線は平常時・災害時を問わず、安定的な輸送を確保する道路ネットワークとして、国土強靱化の観点からも早期完成は喫緊の課題であります。

本協議会としましては、国の事業が円滑に進むよう地元調整など最大限協力するとともに、本路線と一体となって道路ネットワークを形成するアクセス道路等の機能強化を図ってまいります。また、ストック効果を早期かつ広域に発揮させる地域の取組を一層推進してまいりますので、国におかれましては沿線住民の長年の悲願である九州中央自動車道の早期完成のため、次の事項について特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

- 一 「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を確保し、高規格道路のミッシングリンク解消や老朽化対策等を計画的に推進するとともに、令和6年能登半島地震など、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保すること
- 一 令和7年度予算については、道路ネットワークの整備を推進するため、所要額を満額確保するとともに、本路線へ予算を重点配分すること
- 一 「一般国道218号矢部清和道路」、「一般国道218号蘇陽五ヶ瀬道路」、「一般国道218号五ヶ瀬高千穂道路」及び「一般国道218号高千穂雲海橋道路」の事業推進
- 一 計画段階評価が完了している「清和～蘇陽」間の早期事業化
- 一 「平底～蔵田」間の計画段階評価の推進を図ること
- 一 九州の骨格をなす高規格道路を構成する重要な路線として、今後供用する各区間の国による維持管理
- 一 道路整備に加え災害時の現場対応や自治体支援において大きな役割を担う国（地方整備局等）の人員体制や資機材の充実・強化

令和6年8月20日 九州中央自動車道建設促進地方大会

九州中央自動車道建設促進地方大会



日時 令和6年8月20日(火)13:00～15:00

場所 熊本県「山都町総合体育館パスレル」

次第 開会宣言 基調講演

講師:国土交通省九州地方整備局道路部長 三保木 悦幸 氏

開催あいさつ

主催者代表あいさつ

来賓あいさつ

来賓紹介

沿線アピール

沿線住民意見発表

大会決議

ガンバロー三唱

閉会

主催 九州中央自動車道建設促進協議会

九州中央自動車道建設促進期成会(熊本県)

九州中央自動車道建設促進期成会(宮崎県)

ごあいさつ



九州中央自動車道建設促進協議会
会長 宮崎県知事

河野 俊嗣



九州中央自動車道建設促進協議会
副会長 熊本県知事

木村 敬

九州中央自動車道は、九州縦貫自動車道や東九州自動車道と一体となって高速交通ネットワークを形成する幹線道路であり、地方創生の実現に向けた様々な取組が進む中、「ヒト」と「モノ」の円滑な移動により地域間格差を是正し、地方の自立と活力ある地域づくりを図る上で、重要な役割が期待されています。

このような中、令和6年2月に「山都中島西～山都通潤橋」間が開通し、今年度は「平底～蔵田」間が「計画段階評価を進めるための調査」の対象区間に選定されるなど、事業の着実な進捗が図られているところであり、本協議会をはじめとする沿線地域の皆様方や、国土交通省など関係機関の皆様に対しまして、深く感謝を申し上げる次第であります。

九州中央自動車道の沿線地域では、新たな工業団地の整備や観光客受入環境の強化・充実など、開通を見据えた地域活性化の取組が活発化しております。また、八代港や細島港と連携した訪日観光客の誘致や物流の効率化など新たなストック効果も期待されることです。

一方、近年、全国各地で大規模な災害が頻発しており、今後、南海トラフ地震等の大規模災害の発生も懸念されることから、災害時の緊急活動等を支える「命の道」として九州中央自動車道を早期に全線開通させることが国土強靱化の観点から必要不可欠であります。

しかしながら、九州中央自動車道の全線開通については、未だ目処が立っておらず、これまで以上に沿線地域の皆様の熱意や団結力が重要となっております。本大会をはじめとする地域を挙げた取組によって、九州中央自動車道の早期全線開通が実現することを切望しております。



副会長 山口 裕 (熊本県議会議長)



副会長 濱砂 守 (宮崎県議会議長)



副会長 坂本 靖也 (山都町長)



副会長 読谷山 洋司 (延岡市長)

九州東西軸の戦略的かつ効果的な強化を図るための

九州中央自動車道の早期整備

